

令和7年度 3学期終業式辞

3学期終業式を無事に迎えることが出来ました。1年間、お疲れ様でした。皆さんの素晴らしい活躍を拝見する機会に恵まれ、幸せな1年間を過ごさせていただいたと思っています。

さて、少し話は変わりますが、先日、ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)が開催されました。観戦した人も多いのではともいます。日本は、残念ながら日本はベスト8に留まりましたが、大谷選手をはじめたくさんの選手が素晴らしい活躍に元気と勇気を与えてもらったように思います。

またこの大会、個人的に注目していた国がありました。それはチェコです。日本戦では、サトリア投手が7回まで無失点と好投をみせましたが、降板となった瞬間、東京ドーム全員が惜しめない拍手を送った様子に、勝敗を超えたスポーツの素晴らしさを感じました。

私たちは、「世界大会に出る人は特別な環境にいる人」と思ってしまいます。しかし、彼らは決して恵まれた環境の中で野球をしているわけではありません。

実はチェコの代表選手の多くは、プロの選手ではありません。普段は、医者や教師、会社員とそれぞれに仕事を持ちながら野球を続けている人達です。サトリア投手も電気技師だそうです。

このことから、「**何かに挑戦するために、完璧な環境が必要とは限らない**」ということを学びました。

私たちはつい、「時間がない」「条件が整っていない」と、こうした理由を探してしまいます。しかしチェコの選手たちは、「**与えられた時間をどう使うか**」を大切にしているのだと思います。

春休みは、新しい年度への準備期間です。ぜひこの機会に、一旦スマホを置いて、時間の使い方を少し見直してみはいかがでしょうか。

その小さな意識の変化が、次の一年の大きな成長につながると信じています。